

風の道

かぜのみち

2021年 vol.25

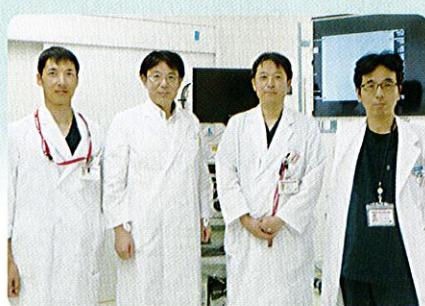
消化器内科の紹介

東部医療センター消化器内科では消化管、胆道、脾臓、肝臓など、あらゆる領域の消化器疾患に対し、各種画像診断および最新の内視鏡を駆使した正確な診断と、より低侵襲な治療を目指し、チーム一丸となって日々診療に当たっております。2020年1月には新病棟の完成に伴い、さらに機能の充実した内視鏡センターがオープンし、より快適な環境のもと医療を提供できるようになりました。

以下に当科の主な診療内容につきご紹介いたします。

東部医療センターは令和3年4月1日より、名古屋市立大学医学部附属東部医療センターとして新たな出発をいたしました。

この大学病院化で名古屋市立大学病院・西部医療センターとともに優れた医療人の育成や先端的研究の発信を基盤とし地域に根差した高度先進医療の提供に一層努めて参ります。改めまして名古屋市立大学医学部附属東部医療センターをよろしくお願ひいたします。



消化管疾患

近年増加している逆流性食道炎(GERD)や機能性消化管障害(FD)に対し、病状に応じた薬物療法を選択し、胃十二指腸潰瘍や慢性胃炎に対するピロリ菌の除菌療法も積極的に行っております。

大腸ポリープに対しては安全性を優先し入院での内視鏡的ポリープ切除術を行い、食道癌、胃癌、大腸癌に対しては最新の内視鏡を駆使し、拡大観察、画像強調観察(NBI;Narrow Band Image etc.)などで、早期発見と精度の高い診断を行っております。特に早期癌に対してはESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)による治療を積極的に行っており、より低侵襲で確実な治療を実践しています。また、消化器外科との連携も良好であり、手術適応の場合は速やかに手術へ移行し、手術不能例に対しても状態に応じた化学療法や放射線療法といった最善の治療を選択します。

潰瘍性大腸炎やクロhn病などの炎症性腸疾患(IBD)に対しては、内視鏡などによる正確な診断の後、ガイドラインに準じた適切な治療を行います。難治例に対してはステロイド、各種生物学的製剤(抗TNF α 抗体など)、免疫調整剤、白血球除去療法など集学的治療を行っております。

稀な小腸の疾患に対しても、カプセル内視鏡やダブルバルーン小腸内視鏡による診断および治療も行っております。

胆道・脾疾患

胆石症、特に総胆管結石に対しては内視鏡的十二指腸乳頭切開術(EST)もしくは内視鏡的バルーン拡張術(EPBD)を施行後に、バスクットやバルーンカテーテルを用いて内視鏡的に結石除去を行います。胆道癌や脾癌による胆道狭窄に対しては、胆汁の流れを確保するためのチューブステントや金属ステントの留置を行い、黄疸や肝機能障害を改善し、可能であれば手術や抗癌剤治療へ移行します。脾囊胞性病変、脾管、胆管拡張、胆嚢の壁肥厚などに対してはCT、MRIに加え超音波内視鏡(EUS)による精密検査を行います。また、胆道腫瘍、脾腫瘍や消化管粘膜下腫瘍などに対しては超音波内視鏡下吸引穿刺生検(EUS-FNA)による組織診断も積極的に行っております。さらに、EUSを用いた、脾仮性囊胞、胆管、胆嚢などに対する、経消化管的ドレナージ術も積極的に行っております。

肝疾患

ウイルスやその他様々な原因で生じた急性肝炎や慢性肝炎の精査および加療を行い、B型肝炎に対しては核酸アナログ製剤やインターフェロンを用いた治療、C型肝炎に対しては最新のDAA製剤(Direct Acting Antivirals)による治療を積極的に行っております。また、肝細胞癌に対しては、ラジオ波焼灼療法(RFA)による治療の他に、放射線科と連携して肝動脈化学塞栓療法(TACE)も施行し、胃食道静脈瘤に対しては内視鏡治療(EVL, EIS)やカテーテル治療(BRTO)を行っております。



最後に、新型コロナウィルスが猛威を振るうなか、消化器疾患の発症率が減少するわけではなく、感染症指定病院として新型コロナウィルス感染患者の対応をしつつ、急性期病院として多くの消化器患者も診療してゆかなくてはなりません。そのような状況で我々は感染管理を徹底することで、より安全で安定した診療体制を維持できるよう日々心がけております。

また、令和3年度からは名古屋市立大学の附属病院となることで、よりいっそう高度な質の高い診療が可能になると思いますので、今後にもご期待いただければ幸いです。

小児科の紹介

小児科は現在常勤医師2名で診療を行っています。新生児期から中学校3年生までの幅広い小児疾患を対象に、外来及び入院診療にあたっています。

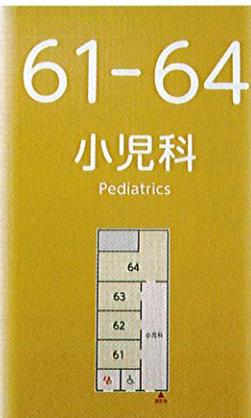
毎週火曜日の午後に、おもに当院で出生された新生児の1か月健診を行い、毎週木曜日の午後には、予防接種を行っています。

また、毎月第3水曜日の午後には名古屋市立大学病院小児循環器専門医による心臓外来を開設しています。

さらに、名古屋市の小児科二次救急輪番に参加をしており、現在は毎週火曜（祝日を除きます）の23時まで診療を行っております。

これまで、専門性の高い疾患や重篤な状態のお子さんについては高次医療機関と密接に連携をとり、必要に応じてご紹介をするなどの対応をして参りました。2021年度の名古屋市立大学の附属病院化で、さらに幅広い分野での対応が可能になるものと考えております。連携医の皆様にはお気軽にご相談をいただければと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



中央検査科の紹介

中央検査科は昨年の1月に入院・診療棟2階への移転に伴い、最新の機器を導入し、臨床検査（検体検査と生体機能検査）を各専門分野に分けて検査を行っております。中央検査科の役割は、病気の早期発見・診断・治療・経過観察の指針となる患者さんの情報を迅速かつ正確に提供する部署であり、医師1名、臨床検査技師30名で構成されています。

検体検査部門は生化学・免疫、血液・輸血、一般・細菌部門に分かれています。これらは、一部を除き診察前検査として、30分から1時間以内の至急検査に対応し、診察時に当日の検査結果をもとに、医師が診断できるよう検査データを提供しています。

生体機能検査部門は心電図検査、ホルタ一心電図検査、肺機能検査、筋電図検査、心臓・腹部・頸部・血管など全身の超音波検査、脳波検査、PSG検査、ABI検査などを行っています。

また、昨年よりCOVID-19の検査として、コロナ抗原定量検査、遺伝子検査（PCR法、LAMP法）を院内で実施しており早期診断が可能となっております。

さらに、検査業務の他にも、院内感染対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、糖尿病教室にも積極的に参画しています。臨床検査技師は、比較的患者さんと接する機会が少ない職種ですが、開かれた検査室を目指し、最新の検査技術を学び地域医療に貢献できるよう時間内はもとより、日・当直体制をとり24時間、365日緊急検査にも対応しています。

最後に検査科として、検査データの標準化を図り、患者さんへの付加価値や優遇される仕組みの検討、接遇や環境の改善に積極的に取り組み、「患者さんにやさしい病院づくり」を推進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。



2021年2月20日(土) WEBにより開催しました

東部・西部 大学病院化記念事業

名古屋市立大学病院

東部医療センター

西部医療センター

3病院合同地域医療連携講演会

令和3年4月1日より東部および西部医療センターは大学病院となります。この記念事業として2月20日に名古屋市立大学病院との3病院合同で地域医療連携講演会を開催いたしました。当日は、300名近くの方にご視聴頂くとともに非常に多くのご意見ご要望も頂戴することができ感謝申し上げます。今後一層、地域の皆様のご期待に沿えるよう務めてまいりますのでよろしくお願ひいたします。

*以下、頂戴したお声を紹介させて頂きます。

発表された先生方の熱意に感銘しました。

他の診療科の特徴のご講演を引き続きお願いいたします。

各病院における医師以外の職種（医療職だけでなく事務も）の活躍、医療安全や臨床倫理などへの取り組みを期待しています。

多様性のある寛容な人材育成や医療者を目指す幅広い学生実習の受け入れ・充実にも期待しています。

頑張って下さい。
応援しています。



プログラム

特別講演

名市大の3大学病院は一体となって
地域に支えられ、地域医療に尽くします

名古屋市立大学理事長 郡 健二郎

東部医療センター

1. 東部医療センターの感染症科の特色

— 輸入感染症と国内希少感染症の治療 —

感染症センター長 長谷川千尋

2. 胸部大動脈疾患に対する低侵襲治療

第二心臓血管外科部長 水野 明宏

西部医療センター

1. 当院における周産期医療の現状と

今後の展望

周産期医療センター長 西川 尚実

2. 陽子線治療の現状と今後の展望

陽子線治療センター長 萩野 浩幸

名古屋市立大学病院

1. 腎臓内科領域における地域医療連携

腎臓内科部長 濱野 高行

2. ロボット手術は癌手術をどう変える？

消化器・一般外科部長 瀧口 修司

連携医紹介

東部医療センターは「地域医療支援病院」として、地域の「かかりつけ医」と連携・協力し、高度な治療・検査・入院・手術などの急性期医療を提供しています。

春岡通クリニック

「春岡通クリニック」は、“愛のある医療を通して心身を一生大切にしていくお手伝いをする”を理念に2020年11月に千種区春岡通で開院しました。お子様からご年配の方々まで安心して受診できる、地域の皆様に寄り添った医療を提供していきます。小さいながらも充実した検査機器(エコー、レントゲン、CTなど)を揃えており、専門の血管疾患(大動脈瘤、動脈硬化症、静脈瘤(日帰り手術可)など)だけではなく内科・外科全般、皮膚科、小児科、在宅診療まで幅広く診療を行っています。入院加療が必要になれば東部医療センターと連携し、治療後もまた最も身近な存在として皆様のサポートをさせていただきます。



〒464-0847

名古屋市千種区春岡通5-15
(東部医療センターからまっすぐ南へ1500m)

電話 052-888-8600

院長 山田 哲也 駐車場 敷地内21台



栄養管理科

ヘルシーシーピ

サツマイモのヨーグルトケーキ

栄養量 (1人分)
85Kcal

たんぱく質…2.6g
炭水化物…15.8g

材料 (8人分 12cm×12cm)

さつまいも (潰したもの) …… 120 g
牛乳 …… 40 ml
砂糖 …… 30 g
卵 …… 1個
ヨーグルト …… 160 g
バター …… 20 g
ホットケーキミックス …… 60 g

作り方

- さつまいもは加熱してつぶす。
- 牛乳・砂糖・卵・ヨーグルトを入れてよく混ぜる。
- ホットケーキミックスも加える。
- 最後に溶かしバターを加える。
- クッキングシートを敷いた型に流し込む。
- 180度のオーブンで45分くらい焼く。
- カットして粉糖をかける



★
さつまいもとヨーグルトを使ったヘルシーケーキです。冷やして食べるとチーズケーキのような味わいに！！

発行者／名古屋市立大学医学部附属東部医療センター広報委員会

名古屋市千種区若水1-2-23

TEL 052-721-7171 <http://www.emc.med.nagoya-cu.ac.jp>

東部医療センター

検索

